

# 平成24年度 教育委員会経営計画書

部署名	教育委員会
役職・氏名	教育次長 安木 義忠
教育委員会 経営方針	
<p>● 部の使命</p> <p>私たち教育委員会は、市の基本構想である「人と自然が織りなすしあわせ実感都市 瀬戸内」という将来像を踏まえて、市民一人ひとりが教育によって自らの能力を伸ばし、恵まれた自然の中で夢と希望をもって文化・スポーツに親しむことができ、「このまちに生まれてよかった、暮らしてよかった」と思える、しあわせが実感できるまちづくりを目指します。</p>	



<p>● 部の基本方針</p> <p>①子どもが楽しく学び成長を実感できるまちを目指して、学力の向上と特別支援教育の充実を図ります。</p> <p>②子どもの成長をみんなで見守るまちを目指して、学校・家庭・地域の連携による教育力の向上に努めます。</p> <p>③ スポーツを通じ健やかに暮らせるまちを目指して、スポーツの日常化・習慣化の促進に努めます。</p> <p>④歴史や文化を大切にするまちを目指して、新図書館整備の推進と社会教育施設の特性、地域資源を活かした学習機会の提供を図ります。</p>
---

●平成24年度 部のスローガン	広げよう笑顔の和										
部署内経営資源											
構成人員	<table border="1"> <tr> <th>正職員</th> <th>臨時職員等</th> <th>計</th> <th>当初予算 (うち人件費)</th> <th>1,385,044 千円 ( 773,174 )千円</th> </tr> <tr> <td>66人</td> <td>166人</td> <td>232人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)	1,385,044 千円 ( 773,174 )千円	66人	166人	232人		
正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)	1,385,044 千円 ( 773,174 )千円							
66人	166人	232人									

教育委員会 重点事項				
重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況	達成状況
1 学力の向上	<p>市内全小・中学校で学力学習状況調査を実施し、一人ひとりの子どもの伸びを支援します。</p> <p>邑久中学校で取り組んでいるアトラティブスクール事業の推進を図ります。</p> <p>長船中学校区の小・中学校で、取り組んでいる外国語教育推進事業の充実を計ります。</p> <p>ICT機器の充実と大学との協定により学習環境の向上を図ります。</p> <p>牛窓中学校区の小・中学校で家学アシスト研究事業に取り組み、家庭での学習時間の確保を図ります。</p>	<p>各中学校ブロックの取組みにより、児童生徒の苦手分野を分析し、授業改善を図る。</p> <p>邑久中学校で150人以上の支援ボランティアを目指す。</p> <p>外国語活動が楽しくないと答えている生徒の割合10%以下を目指す。</p> <p>ICT機器として実物投影機の整備率50%を目指す。</p> <p>就実大学生による学習支援ボランティアの活用を目指す。</p> <p>一人ひとりの家庭学習の時間を増やす(学習状況調査による比較)。</p>	<p>全国・県・市の学力調査を実施後、学力向上研修会を8月22日に開催。</p> <p>邑久中学校の支援ボランティアは順調に増えている。</p> <p>外国語教育推進事業の研究会を11月22日に実施。</p> <p>ICT機器整備率は40%を超えた。</p> <p>家庭学習アシスト事業により研究を推進中。</p>	<p>授業の始めにめあてを提示し、授業の終わりにまとめを確実に行った小中学校100%。</p> <p>邑久中学校区のボランティア登録数146名。</p> <p>長船中学校区の小中学生の「外国語が楽しくない」と答えた児童生徒7%に減少。</p> <p>牛窓中学校区で「休日に60分以上学習」の割合が32%から53.6%に上昇。</p> <p>授業以外で平日に1時間以上学習する割合は、H25全国調査で達成状況を把握。</p>
2 特別支援教育の充実	<p>特別支援に関わる研修会等に参加することにより、支援員等の資質の向上を図ります。</p> <p>特別な支援を必要とする子どもや保護者が、就学前から適切な支援を受けられるよう、保育園・幼稚園・小学校・中学校が協力できる体制作りを進めます。また、関係機関との連携を進めます。</p>	<p>特別支援学校等と連携して研修会を開催する。</p> <p>特別支援に係るケース会議を複数回実施。</p> <p>保・幼・小・中の連絡会を年間3回実施。</p>	<p>邑久中・邑久小で特別支援教育の研修講座を実施。</p> <p>ケース会議は幼稚園を中心に10回以上実施。</p> <p>保幼小の連絡会は6回実施。</p>	<p>年間2回実施。</p> <p>アンケートで、有用感を得たとする割合は参加者の90%を超えた。</p> <p>12回のケース会議を実施。</p> <p>連絡会により、保幼小連携カリキュラムが完成した。</p>

重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況	達成状況
3 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上	新たに長船中学校・牛窓北・邑久小学校に学校支援地域本部を設置するとともに、昨年度から取り組んでいる邑久中学校・国府小学校同様、地域住民による学校支援ボランティアが学校教育活動を支援する取組を進め、地域全体で学校教育を支援する体制を整備します。	運営委員会の設置・開催。登録学校支援ボランティア総数250人以上・子どもボランティア50人以上を目指す。学校支援ボランティア研修会の実施。	11月12日、運営委員会を設置・開催。10月31日現在の登録ボランティア数376人。内、児童・生徒ボランティア94人。活動延べ人数1,273人。1月29日学校支援ボランティア合同研修会実施予定。	登録ボランティア数447人。内、児童・生徒ボランティア92人。教育活動支援運営委員会を設置し、ボランティア研修の開催や5校の取組、成果・課題について情報共有する体制を整備することができた。
4 スポーツの日常化・習慣化の促進	「スポーツの力で日本を元気に」「スポーツの力で瀬戸内市を健康に」を合言葉に、スポーツを通じて「明るいまちづくり」へのきっかけとなることを期待するとともに、スポーツの日常化・習慣化を促進することを目的として「チャレンジデー2012」を実施します。	各地域で様々な企画をし、総参加者を人口の50%、20,000人を目指す。	平成24年5月30日に市内全域全市民を対象にスポーツ活動や健康づくり活動実施した。	各事業所・学校・地域で様々な企画を実施、総参加者は人口の51.1%、20,032人を達成し、読谷村に勝利。
5 新図書館整備の推進	「新図書館整備基本計画」に基づき、整備スケジュールの進捗を図るとともに、現図書館・室を含めたサービス機能の強化や、読書振興及び利用促進につながる学習機会の提供を行い、市民の生涯学習機関としての図書館への理解を醸成します。	用地の確保、設計関連委託事業の一部を完了させる。「基本計画」の説明を兼ねた一般向け及び子ども向けワークショップを行い、計画への市民参画を実現する。住民1人当りの貸出冊数を5%増加させる。図書館基金への寄付を募る活動を展開する。	市民ワークショップは、子ども向けを含め3回実施し、延べ121名の参加者があった。また、今年度策定予定の「実施計画」は素案を完成させた。住民1人当りの貸出冊数は、上半期ペースで15%の増加となった。	市民ワークショップは、子ども編を含め計7回のべ回数では10回開催し、180名の参加者を得た。「新図書館整備実施計画」は3月末に策定を完了した。図書館・室の貸出は、前年度より5.1%増となった。
6 社会教育施設の特性、地域資源を活かした学習機会の提供	大学や企業、教育機関等と連携し、出前講座や公民館講座を開設します。また、博物館や美術館で施設の特性や機能を活かした企画や展示を行い、幅広い世代に対して幅広い学習機会を提供します。	専門性を有する機関等と連携した講座開設や展示会の開催。 新たな生涯学習の情報提供による博物館入館者42,000人、美術館入館者20,000人など社会教育施設の利用者を増やす。	中央公民館では、企業と連携し恐竜の化石・骨格模型の展示、講演会、体験型講座を実施。博物館では、企業と連携し、日本刀の匠の技と人気アニメを組み合わせた特別展「エヴァンゲリオンと日本刀展」を開催し若い世代へ日本刀文化の浸透をめざした。美術館では、企業・民間団体と連携し、障がいのあるアーティストの作品展や日本刀をテーマにした絵画・イラストの公募展を開催した。	中央公民館では林原自然科学博物館や就実大学と連携し講座・展示会を開催し幅広い学習機会を提供した。博物館では「エヴァンゲリオンと日本刀展」等の特別展を開催し、若者・ファミリー層の来館が増え、年間70,302人の入館者があった。美術館では「金澤翔子展」などの話題性・魅力のある特別展を開催し、年間59,361人の入館者があった。